

Smart Life in Toyama

EVで富山がもっと好きになる

■ vol.4 もしものときにも、未来のためにも。■

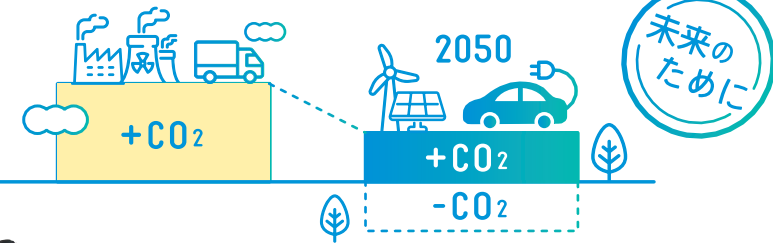
EVで叶える、地球にやさしい未来



教えてくれた人
富山県
エネルギー政策課
向山さん

近年、地球温暖化が進み、温暖化が原因と思われる異常気象がみられます。富山県では、2050年までにCO₂などの温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」の実現を目指しています。県内の温室効果ガス排出量のうち、約1割がマイカーからの排出

によるものです。また、富山県は世帯当たりの自家用車保有台数が多いため、マイカーを走行時にCO₂を出さないEVへ換えていくことでカーボンニュートラルの実現に大きく貢献できます。みなさんも、未来の地球のために、EVに乗り換えることを考えてみませんか？



今なら、購入時に
国・県からの補助金が受けられます！

	富山県からの補助金 令和7年度 EV・FCV補助金	国からの補助金 CEV補助金
補助対象	EV (PHEVは対象外)、FCV※	EV、PHEV、FCV※
補助額	1台につき定額5万円(EV) 1台につき定額50万円(FCV)	車種ごとに異なる (詳細はページ下の二次元バーコードから)

※FCV⇒燃料電池自動車のこと

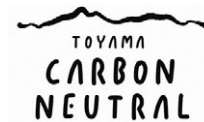
県EV補助金

令和8年1月30日(金)
12:00 必着

購入をご検討の方はお早めに！
※EV、FCVからの乗り換えは対象外。

申請から交付までの流れ

- 電気自動車の購入
- 初度登録後、国補助金に申請
- 国補助金の交付決定後、県へ交付申請書類を提出
- 県から交付決定通知書が郵送
- 補助金が指定口座に



【お問い合わせ】富山県成長産業推進室 エネルギー政策課 ☎076-444-9658 ✉aseichosangyo@pref.toyama.lg.jp

年間コストをくらべてみると……

■ 年間1万km走行した時のコスト比較

[ガソリン車] ガソリン代 → 約12万円/年
666L(1万km÷15.0km/L)×180円/L

[EV] 電気代 → 約4万円/年
1,298kWh(1万km÷7.7km/kWh)×31円/kWh

※上記の試算はあくまで目安です。
諸条件によって異なります。

年間 約8万円の差

詳しくはQRコードをCheck！



◀CEV補助金
について



◀富山県
EV補助金
について



◀富山県
FCV補助金
について

富山ではじめる、EVとの新しい暮らし。

「Smart Life in Toyama」は、静かでスムーズなEVならではの心地よさを、富山の美しい景色と共にお届けする全6回連載です。

今回は、災害時には頼れる電源となり、日々の暮らしでは環境を守る、EVの新たな側面に迫ります。さあ、Taktと一緒に、EVがもたらす新しいライフスタイルを想像してみませんか？

Reporter
Taktスタッフ
りょうな



知らないことが
いっぱい！

停電時の電力供給を体験！ in 電動 DRIVE STATION



教えてくれた人
富山三菱 富山本店
星野さん

国内メーカーのEVのほとんどには、V2H (Vehicle to Home) 機能があります。これはEVのバッテリーの電気を家庭で使える仕組みです。V2H機器と接続すればEVに蓄えられている電力を住宅に供給できるため、災害や事故などで停電したときに力を発揮します。普段は移動手段として使っている愛車が、停電時の非常用の電力供給源となって生活をサポートし、災害時の不安を解消することができるのです。



V2Hを始動させると動力源がどのように切り替わるのか、家庭内に取付けたモニターを通して見るができます。写真は、EVから電気を給電している状態です。

今回のオトモ 三菱 ekクロス EV

- バッテリー
一充電走行距離 20kWhバッテリー 180km (WLTCモード・前輪駆動)
- 充電
充電時間 普通充電 / 急速充電 約8時間

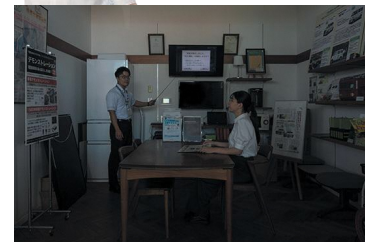
※2.9kW普通充電器での充電の場合
※一充電走行距離・充電時間は、あくまで目安です。
諸条件によって異なります。



実際に
やってみよう

1 電力を落として 停電状態に！

外部からの電力を遮断し、ライフスタイルコーナー内を実際の停電発生時と同じ状態にします。



電力がV2H機器を
通って室内へ



すぐに復旧！

停電状態になったら、V2H機器を介してEVに蓄えられている電力を住宅に供給します。電力が供給されることで、停電時も普段通りの生活ができるのが実感できます。

電子レンジで
温かい料理を！



スマホを充電して
情報収集も！

V2Lで使える1,500Wを体感！

※ekクロスEVにV2L機能はありません。

V2L (Vehicle to Load) とは、EVに蓄えられた電力を専用コンセントから直接家電に送ることができる機能です。この機能がある車両なら特別な設備は不要で、車内のコンセントに家電を繋ぐだけでOK。今回は、1,500Wでどんな家電が動くのか、複数の家電を同時に利用することはできるのか、実際に体験してみました。

1 電化製品のスイッチをON！

災害時に役に立つテレビ・冷蔵庫・電気ポット・卓上ランプ・充電器を使用します。

2 モニターで消費電力をチェック

※モニターは体験用の設備です。

モニターには、使用中の家電製品のそれぞれの消費電力、合計消費電力が同時に表示されます。電子レンジや電気ポット、冷蔵庫など、各製品の消費電力の目安が分かります。



5つを同時に使用しても
750W以下！

もしもの
ときに